

令和8年度 学校経営計画

白山市立鳥越中学校 校長 石田 浩幸

1. 学校経営ビジョン

(1) 経営理念

学校は 生徒にとって「できなかったことができるようになる場所」である。また、「できるようになる」と行動面などで表出される。そこで、表出されるまでの道のりを設定しながら、学習面、社会性、身体面など様々な成長を願い、教育活動を行うことが学校の使命である。

(2) 学校教育目標

「豊かな心と向上心あふれる生徒の育成」～ 笑顔いっぱいの学校づくり～

カリ・マネの柱 「認め合い伝え合い高め合い」

(3) 今年度の重点目標

R8「様々な見方・考え方を知り、周囲と折り合いをつけ、自分の意志を持ち行動しようとする」

① 発達支持的生徒指導の確立【生徒指導】

自分の意見を持つまでの過程を見える化するとともに、子供が主体となる活動を通して自分の意見を持つことを価値づけ、生徒に返すことを繰り返すことで、協働の場面が活性化することを目指す。

② 確かな学力を身に付けるための授業づくり【授業力向上】

他者とのかかわりの中で主体的に学び、教科の見方・考え方を働かせて自分の意見を持てるようになることを目指す。

③ 自己有用感を高める指導の推進【特別活動】

生徒・保護者・地域・教職員それぞれの願いをお互いが知り、それを課題として生徒自らが解決する。この過程を通して、生徒による学校づくりを推進し、四者がお互いを思いやり、感謝し合う関係性を目指す。

④ 個別の教育的ニーズに応える教育の推進【特別支援教育】

すべての学級で教育的ニーズを明らかにし、一人一人に必要な指導や支援を行うことで個々の着実な伸長を目指す。

(4) 目指す学校組織・教職員の在り方

① 組織的な学校運営

- ・本校の実態を把握し、課題解決に向けて「チーム」として協働する（何を大切にすべきか共有）
- ・幸せを感じながら教職に励み、生き生きとした姿を生徒に見せる（業務量管理・健康確保措置）
- ・積極的に挑戦していこうと考える（地道にコツコツと）

② 家庭・地域との連携・協働

- ・保護者の意見を聞き、教育実践に生かし、その評価をいただきながら学校教育活動を改善する
- ・学校運営協議会を通して地域との協働場面を作り、生徒と共に合意形成する場面を設ける

③ 教員の働き方・業務改善に関する取組

- ・教職員への学校評価アンケート結果を学校運営協議会・保護者に公表する
- ・学校運営協議会において、取り組みに関する助言をいただきながら改善を進める